

印象に強く残った四日間

網走市立第四中学校 三年

石黒 陽香（いしぐろ はるか）



私は、8月5日から8日までの4日間、青少年平和都市友好交流事業に参加し、広島県と東京都を訪問しました。

1日目は、広島県の平和記念公園と原爆ドームを見学しました。

私は、広島県に行って、とても驚いたことがあります。それは、広島空港から外に出た時の、広島の暑さです。網走を出発した時の気温は16度ほどでしたが、広島は35度と網走ではあまり感じることをできない暑さで驚きました。

原爆ドームを見て感じたことはテレビなどで普段見る、想像していた原爆ドームとは違い、とても鮮明で、衝撃を受けました。元々は赤いレンガだったと思われる所が割れていたり黒や白になっていたり、鉄の部分だけが残っている上部、元はそこにあったと思われる壁が瓦礫となって地面に落ちていたり、一発の原子爆弾でこんなに悲惨な姿になってしまうのだとも言えない気持ちになりました。原爆ドームの周辺はビルなどの都市的な部分が広がっていて、約八十年間で復興したということにとっても感動しました。

2日目では、ひろしま子ども平和の集いに参加し、厳島神社・宮島水族館を見学しました。

ひろしま子ども平和の集いでは梶本さんの講話を聞きました。私が梶本さんの講話を聞いて一番心に残ったことは、自分の街に被爆して、戻った時の話です。梶本さんが14歳の頃、爆心地から23キロ離れた工場で被爆しました。梶本さんが自分の街に戻れたのは被爆してから3日目のことです。梶本さんはお父さんと偶然会いました。梶本さんのお父さんは梶本さんが働いていた工場に梶本さんを探しに行っており、お母さんから「死ぬ前に一口でも食べさせてあげて」と小さなおにぎりを一つもらい、3日間広島の街を探していたという話を聞きました。この話を聞いて私はお母さんが配給でもらえる少ないお米を生きているかわからない娘に少し残していたことがとてもすごいと思いました。それと小さなおにぎり一つでもとても大事なことに驚きました。梶本さんの講話で平和公園の水は水を求めて死んだ人、水を飲んで死んだ人への供養だと聞いてとても驚きました。なぜなら、1日目の平和公園見学の時、私は泉を見てとても綺麗でおしゃれだと思ったからです。

2日目の夜にお好み焼きを食べました。店主の方から食べ方を教えてもらいとても楽しく食べました。

3日目は東京ディズニーランドに行き、様々なアトラクションに乗りました。とても暑かったです。

4日目は、東京都慰霊堂と平和祈念展示資料館を見学しました。慰霊堂で関東大震災の余震は、阪神・淡路大震災を超えていたという展示を見ました。あまりの揺れの強さで地震計が壊れたようです。死者・行方不明者が約15万人、全壊・全焼・流失家屋は約29万3千棟ととても大きな被害が出たとあり、もしも今来てしまったらどうなるのかなどいろいろ考えました。地震があった時間で止まった時計や割れた眼鏡などが展示されており表現が難しい気持ちになりました。平和祈念展示資料館では、食料と支給された服の袖を交換していたということや大人が食料を本気で求める姿が見られました。これを見て私は、食料も心も余裕がなく大変で過酷な生活で死んでしまう人もいてもう二度とこのようなことがあってはならないと強く思いました。

今回の事業に参加して私は、普段見ること、聞かないことを知ることができました。

最後にこのような機会を与えてくれた網走市の皆様、本当にありがとうございました。